

高等部 1 年 生活単元学習 学習指導案

日 時：平成 29 年 12 月 1 日（金）9：45～11：25

場 所：1 年 1 組教室，1 年 2 組教室，図書室，縫製室 1

生 徒：男子 13 名，女子 5 名，計 18 名

指導者：阿部哲哉 T 1，佐々木奈織 T 2，武田幸美 T 3

伊藤直美 T 4，本多由香 T 5，熊谷淳清 T 6

1 単元名 「よさこいズ 18」発表会④～横手支援学校とのよさこい交流を成功させよう～

2 単元の目標

- (1) 得意な活動や踊りの発表を通して主体性を高め，横手支援学校の生徒に交流会を楽しんでもらう方法を考えて意見を出したり，進んで自分の役割を果たしたりする。 【知・技】，【思・判・表】
- (2) 友達と一緒に発表会の準備を進めたり，発表会で横手支援学校の生徒と交流したりすることで，人と関わることに喜びを感じ，相手の気持ちを考えて発言や行動をする。 【学，人】

【知・技】＝知識・技能 【思・判・表】＝思考力・判断力・表現力 【学，人】＝学びに向かう力，人間性

3 生徒と単元

(1) 生徒について

本学年は 10 名が日常的な会話ができ，8 名の生徒は簡単な言葉や身振り，写真カードなどを通して相手との意思疎通が可能である。自分に自信がもてず自己肯定感が低い生徒や，経験不足から友達とコミュニケーションを取ることを苦手と感じている生徒がいるが，入学当初に比べて友達同士の関わりが増えてきている。

本学年は歌や踊りが好きな生徒が多く，覚えた踊りを家庭で練習したり，インターネットで関連する動画を検索したりと，高い関心をもって踊りの練習に取り組んでいる。これまでの発表会で上手に踊れたことや観客に喜んでもらえたことで徐々に自信が付いてきた。そしてもっと喜んでもらうために，踊りの説明の仕方を友達と話し合ったり，発表会の構成や原稿を自分たちで考えたりするなど，発表会を成功させるために進んで意見を出す場面も増えてきた。

(2) 単元について

今年度はよさこい踊りの発表を通して他の支援学校や地域との交流を行う。これまで本校の小・中学部やせんぼく校などで発表し交流してきた。そして 9 月にせんぼく校の同年代の生徒と交流して楽しかったことや本校高等部 2 年生が交流会の企画や進行を行っていたことに刺激を受けた。

生徒たちの意見を基に本単元では，同じよさこい踊りを行っている横手支援学校との交流会を企画，実施することとした。踊りの上達や交流会の充実を図るために，地域団体から踊りの指導を受けたり，交流会の企画を行ったことがある 2 年生へのリハーサルを取り入れたりする。相手に喜んでもらうために，得意なことを生かして交流会の準備や発表をすることで達成感が得られ，より主体的に行動する姿勢が生まれると考える。また観客や友達の立場を考える活動を取り入れることで，好ましいコミュニケーション能力を育成できると考え，本単元を設定した。

(3) 指導について

① 分かる

- ・交流する横手支援学校の生徒をより具体的にイメージできるように，事前学習の中で交流する生徒の写真や踊っている動画などをタブレット端末で提示する。
- ・全体の進捗状況や本時の活動内容を理解しやすいように，それぞれの班の進捗状況を棒グラフで示したり，板書の文字情報を精選したりする。

② できる

- ・話合いや友達への活動の助言が活発に行えるように，ペアワークで活動の共有を図ったり，活動中のつぶやきを教師が付せんに書き表したりする。
- ・各班がつながりを意識したり，生徒同士のアイデアを積極的に取り入れたりすることができるように，依頼書を介した班同士のやりとりの場面を設定する。

③ 振り返る

- ・目標に沿って活動が進んでいるか振り返れるように，活動中にめあてを確認するため，班内で中間評価を行う時間を設定する。
- ・発表会に向けて意欲を高められるように，製作物を掲示したり，衣装を身に付けたりして，全員でリハーサルや踊りの練習をする。

4 指導計画（総時数 38 時間）知＝知識・技能、思＝思考力・判断力・表現力、学＝学びに向かう力、人間性

小単元名・主な学習活動	時数	主 な 目 標	知	思	学
(1) 発表会の準備をしよう ① 班を決める。 ・手飾り・プレゼント班・宣伝班 ・企画・連絡班 踊り紹介班 ② 発表会に向けて準備することを決める。	4	・単元全体に見通しをもち、自分の班や活動内容を知り、自分の活動に進んで取り組む。	○		○
		・交流する生徒や横手支援学校について知り、発表会に向けて意欲を高める。	○		○
(2) リハーサルをしてアドバイスをもらおう（2年生） ① 班ごとに準備（プレゼントやプログラム作りなど）をする。 ② 2年生に向けて発表しアドバイスをもらう。 ③ 本番に向けて改善することを話し合う。	12	・2年生へのリハーサルに向けた準備で、友達や教師と協力して2年生に楽しんでもらうために必要なことを考える。	○	○	○
		・踊りの練習で、よさこいグループ「桜秀心舞」からのアドバイスをもらった掛け声や表情が相手に楽しんでもらうために大切であることに気づき、実践する。	○	○	
(3) 発表会の準備をしよう ① もっとよくする点を踏まえながら準備（プレゼント作りやプログラム作りなど）する。 ② 予行練習をする。	16 (本時 5,6/16)	・リハーサルを振り返り、横手支援学校の生徒に楽しんでもらうために成功した点やもっとよくする点を出し合う。		○	
		・班同士で必要な仕事を分担したり、自分の担当した活動を他班の友達に紹介したりすることで、お互いの頑張りを認め合う。	○	○	
		・友達と協力してプレゼントを作ったり、よさこい踊りを生かした交流内容を計画したりする中で、友達の気持ちや班の進捗状況を考えて活動する。	○	○	
(4) 発表会をしよう ① 発表会を実施する。 ② アンケートを配付する。	2	・発表会当日の役割を理解し、横手支援学校の生徒に楽しんでもらうために自分から進んで活動する。	○	○	
		・積極的に自分から交流する生徒に話し掛けたり、声を掛け合って踊ったりする。		○	○
(5) 発表会を振り返ろう ① 「楽しんでもらう」というキーワードから交流や事前準備がどうであったか振り返る。 ② 次回の発表会に向けてのもっとよくする点をまとめる。	4	・発表会に向けて自分たちが取り組んだことを振り返り、自分や友達の頑張った点やよかった点に気付く。	○	○	○
		・発表会で楽しかったことやアンケートを振り返る中で、次回の発表会に向けた意欲を高め、それに向けたもっとよくする点をまとめる。	○	○	○

5 本時の計画（38 時間中の 21, 22 時）

(1) 本時の目標

- ・2年生からのアドバイスを受けて、本番に向けてもっとよくするために、交流会の内容を話し合ったり、プログラムや衣装などを製作したりする。

(2) 目標と手立て

	氏名	単元の目標	本時の目標	手立て
企画・連絡班	A	<ul style="list-style-type: none"> ・交流などの話し合い活動において班の意見をまとめながら、よさこい踊りを生かした交流の具体的な内容を決める。 ・各班の友達や横手支援学校の生徒に分かりやすいように、話し方や受け答えに気を付けて説明したり、発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介ゲームをより分かりやすく進行するための意見を出したり、友達の意見をまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を考えたり、友達の意見をまとめたりすることに集中できるように、教師が意見を付せん紙に書き、ホワイトボードに貼る。

	氏名	単元の目標	本時の目標	手立て
企画・連絡班(自己紹介ゲームの話合い)	B	<ul style="list-style-type: none"> 交流する生徒に楽しんでもらえるようにチラシにイラストを加えたり文字の大きさを工夫したりするなどの意見を発表する。 各班の友達や横手支援学校の生徒に分かりやすいように、自分から進んで声を掛けたり、声の大きさに気を付けて発表したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介ゲームが友達に分かりやすく伝わるように、手順を紙に書いて示すなどのよりよくする点を挙げ、それに必要な準備物を製作する。 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイスを正確に把握し、よりよくする点を具体的に考えられるように、2年生のアンケートから自己紹介ゲームにちなんだ記述をまとめたものを提示する。
	C	<ul style="list-style-type: none"> 横支メール作りなどの活動が分かり、積極的に友達に声を掛けて活動する。 横手支援学校の生徒に事前学習の様子が伝わるように文章を考えたり、写真や動画を撮ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己紹介ゲームが友達に分かりやすく伝わるように、手本を示すなどのよりよくする点を挙げる。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすく説明する方法が考えられるように、友達の動きを見るところという視点を提示し、リハーサルのビデオを見る場面を設定する。
宣伝班(プログラムの作成)	D	<ul style="list-style-type: none"> 企画、連絡班の案を基に分かりやすいアンケートやチラシなどを作成する。 自分から進んで友達にパソコンの使い方を教えたり、横手支援学校の生徒たちに声を掛けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> チラシ作りで得たパソコンの操作法を生かし、友達にアドバイスをしながらプログラムの次第をパソコンで作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に分かりやすくアドバイスする手掛かりとして、書体や色を決める操作法をどの段階で使用するのかを示した手順カードを用意して提示する。
	E	<ul style="list-style-type: none"> 発表会の準備や発表会での自分の役割が分かり、進んで役割を果たす。 自分から友達に意見を求めるなど協力してアンケートなどを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 見本や友達のやり方に習って作成手順を覚え、プログラムの次第をパソコンで作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字の大きさや書体を具体的に書き込んだ見本を用意して提示する。 同じものを作成する友達とペアで活動できるように座席を指定する。
	F	<ul style="list-style-type: none"> 企画、連絡班の案や見本を基に分かりやすいアンケートやチラシなどを作成する。 自分から進んで友達にアイデアを伝えたり、横手支援学校の生徒に声を掛けたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 文字色などについてアイデアを出しながら、パソコンでプログラムの次第を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの次第の文字色のパターンを用意して提示する。 友達から見やすさについての意見をもらう話し合いの場を設定する。
	G	<ul style="list-style-type: none"> 企画、連絡班の案や見本を基に友達と協力してプログラムなどを製作する。 交流する生徒の名前を覚え、自分から声を掛けたり、一緒に楽しく踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 見やすさを考えて、書体や色を工夫しながらプログラムのタイトルを模造紙に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> 考えるきっかけをつくるために、書体や色の見やすい例と見にくい例を用意して提示する。 タイトルを書くスペースを指定する。
H	<ul style="list-style-type: none"> 発表会の準備や自分の役割が分かり、大きく文字を書いたり、イラストを描いたりしてプログラムなどを製作する。 交流する生徒の名前を覚え、自分から声を掛けたり、一緒に楽しく踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> プログラムの模造紙の大きさやスペースに合わせて、交流会の内容を表すイラストを描く。 	<ul style="list-style-type: none"> イラストを入れるスペースの大きさに合わせてイラストを描く色画用紙を用意して提示する。 プログラムの次第に合わせてイラストを選べるように、交流会の内容に合ったイラストを用意して提示する。 	

	氏名	単元の目標	本時の目標	手立て
手飾り・プレゼント班（プレゼント用ラッピング・手飾り作り）	I	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとして、班の友達に役割を依頼したり、せりふカードを使って作業開始や終了の挨拶をタイミングよく話したりする。 交流会において自分から交流相手にハイタッチを求めたり、一緒に踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ラッピング袋に貼られた顔写真を見て、その人の手飾りを正しく選んで入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 渡す相手が分かるように、ラッピングの前に、誰の手飾りか仕分ける時間を設ける。
	J	<ul style="list-style-type: none"> 2色の織り紐を選び、手元をよく見て織ったりラッピングしたりする。 友達や横手支援学校の生徒の写真を見てプレゼントする相手が分かり、相手を見つけて手渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> クッション材を一握り分取り出し、両手で丸めてトレイに置く活動を、テンポよく進める。 	<ul style="list-style-type: none"> 両手で丸める動作を、演示したり「クル、クル」と言葉掛けしたりして分かりやすく示す。 活動をテンポよく進められるように「〇〇さんが待っているよ」などと言葉掛けをする。
	K	<ul style="list-style-type: none"> 2色の織り紐を選び、丁寧に手飾りを織ったり、ラッピング用の袋を飾ったりする。 友達や横手支援学校の生徒と一緒に笑顔で踊ったり、両手で手飾りを手渡したりして楽しく交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 丸シール2枚とラベル1枚を、決められた枠に合わせてラッピング袋に貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> シールを貼る位置が統一されるように、丸2つと長方形1つが書かれた台紙を準備する。
	L	<ul style="list-style-type: none"> 2色の織り紐を選んで交互に織ったり、ラッピングのためのクッション材を準備したりする。 手飾りを友達にプレゼントすることが分かり、渡す相手の写真や教師の言葉掛けを手がかりにして、相手を見つけて手渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> 一袋に一つずつクッション材を詰めることが分かり、トレイから取り出して袋に詰める活動を自分から進める。 	<ul style="list-style-type: none"> クッション材を一つずつ入れることが分かるように、友達が予めトレイに仕分けたものを準備する。 「ここにポン」など、言葉掛けや指差しをして動作を促す。
	M	<ul style="list-style-type: none"> 写真を見て友達の名前を教師と確認しながら制作活動を進めることで、友達へのプレゼントを作っていることが分かる。 相手に聞こえる声で「お願いします」「どうぞ」などと話しながら、手飾りやラッピング袋などを手渡す。 	<ul style="list-style-type: none"> モールをねじる動作を覚え、ラッピング袋の口にモールを結び付け、ラッピングを完成させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 袋に結び付けやすいようにU字状にしたモールを準備する。 モールをねじる動作を、演示したり「くるり」と言葉掛けしたりして分かりやすく示す。
N	<ul style="list-style-type: none"> 2色の織り紐を選び交互に織ったり、ラッピング用の袋にシールを貼ったりする。 交流会で友達や横手支援学校の生徒と一緒に横断幕を持ったり手飾りを手渡したりして楽しく交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ラッピング袋の指定された位置に、上下を確認して友達の顔写真を貼る。 	<ul style="list-style-type: none"> 顔シールを貼る位置が分かるように、ラッピング袋に顔のイラストが描かれた台紙を挟む。 顔写真への注目を促すため「〇〇さんだね」と友達の名前を伝える。 	

	氏名	単元の目標	本時の目標	手立て
踊り紹介班(掛け声ボードを使った踊りの説明練習)	O	<ul style="list-style-type: none"> リーダーとして進捗状況を把握し、友達の意見を聞きながら踊りの解説や紹介の仕方を考える。 交流する生徒の気持ちなどを考え、相手に合わせて話し方や接し方を工夫し、交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> 練習の動画から分かりにくい部分を見付け、掛け声ボードの見せ方を提案する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分かりやすさにつながる「速さ」「見せ方」などの項目を提示し、動画を繰り返し再生しながら工夫できそうなどころはないか質問する。
	P	<ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすく踊りを覚えてもらうために、友達に踊りのアドバイスをしたり、踊りの解説の文章を考えたりする。 自分から進んで交流する生徒に声を掛けて、踊りの説明をしたり一緒に踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 掛け声ボード係が動かしやすい速さを考えて拍を打つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 拍を打つ速さを決められるように、掛け声カード係と相談する場面を設定する。
	Q	<ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすく踊りを覚えてもらうために、解説の文章を丁寧に書いたり、見やすい写真を撮ったりする。 自分から進んで交流する生徒に声を掛けて、踊りの説明をしたり一緒に踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達の助言を受け入れながら掛け声ボードの見せ方を練習し、タイミングに合わせてボードを出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 友達に分からないところを相談できるように、ペア練習の場面を設定し、協力して練習している場面を称賛する。
	R	<ul style="list-style-type: none"> 相手に分かりやすく踊りを覚えてもらうためのポイントを進んで発表する。 踊りの説明では大きな声で相手に分かりやすく説明したり、一緒に踊ったりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 広い場所で掛け声ボードを見せるための工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 掛け声カードの高さを考えられるよう、体育館の奥の生徒でも見えるかどうか質問する。

(3) 展開 (別紙)

(4) 配置図 (別紙)

(5) 準備物

企画・連絡班：アンケート集計用紙，付せん紙，タブレット端末

宣伝班：パソコン，プリンター，印刷用紙，模造紙，マジック，クーピー，手順ボード
宣伝ファイル，色画用紙

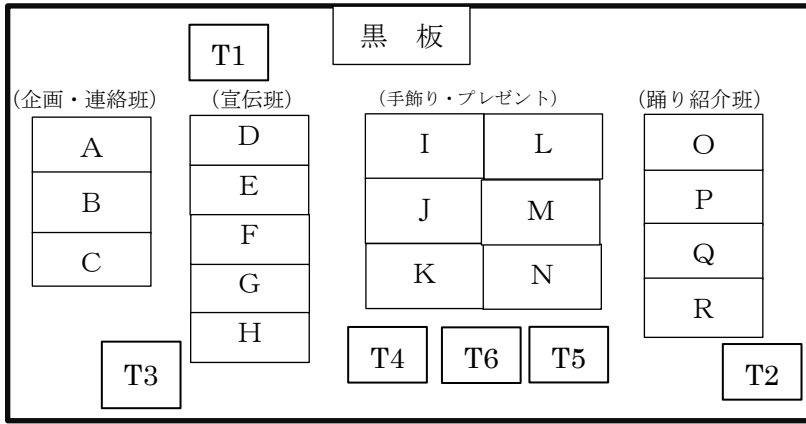
手飾り・プレゼント班：織り機，織り紐，色見本，ラッピングの材料，せりふカード

踊り紹介班：掛け声ボード，拍打ち用ばち，掛け声の歌詞カード，タブレット端末

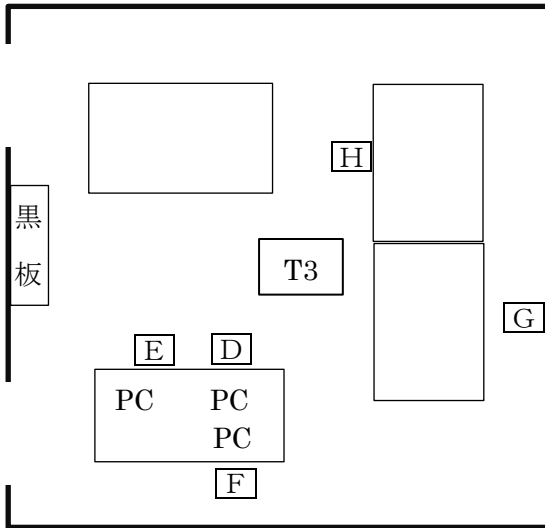
(6) 評価の観点

- 生徒
- ・2年生からのアドバイスに対して、工夫する点を考えることができたか。
 - ・工夫する点を友達と相談して決めたり、必要な物を協力して制作したりして活動できたか。
- 教師
- ・生徒自身、または班内でより工夫する点が挙がるようにするための、教材・教具、発問や板書であったか。
 - ・生徒たちがよりよくする点を常に意識しながら協力して活動できるようにするための、教材・教具、教師の関わり方は適切であったか。

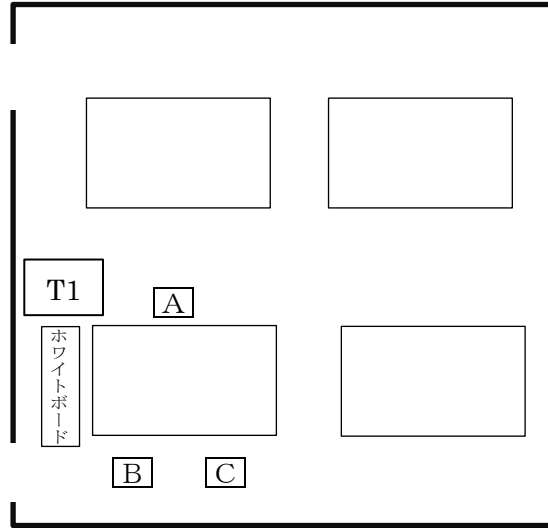
○配置図【1-2教室】学習活動1, 4



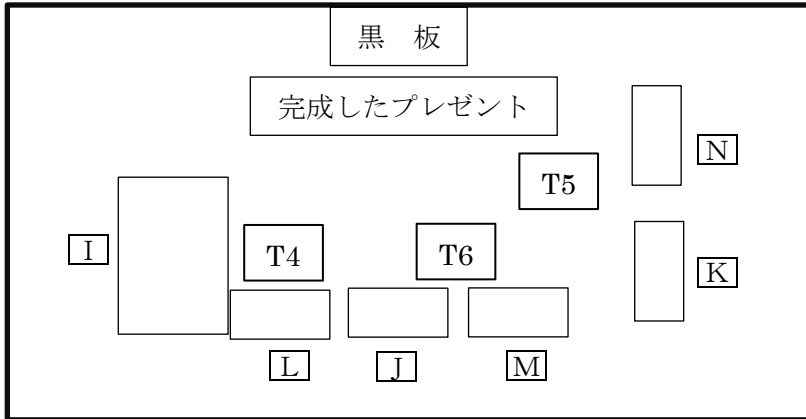
【図書室】宣伝班



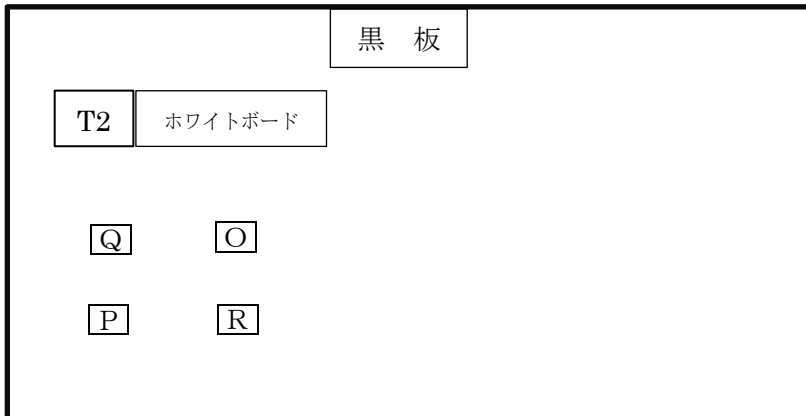
【縫製室1】企画・連絡班



【1-1教室】手飾り・プレゼント班



【1-2教室】踊り紹介班

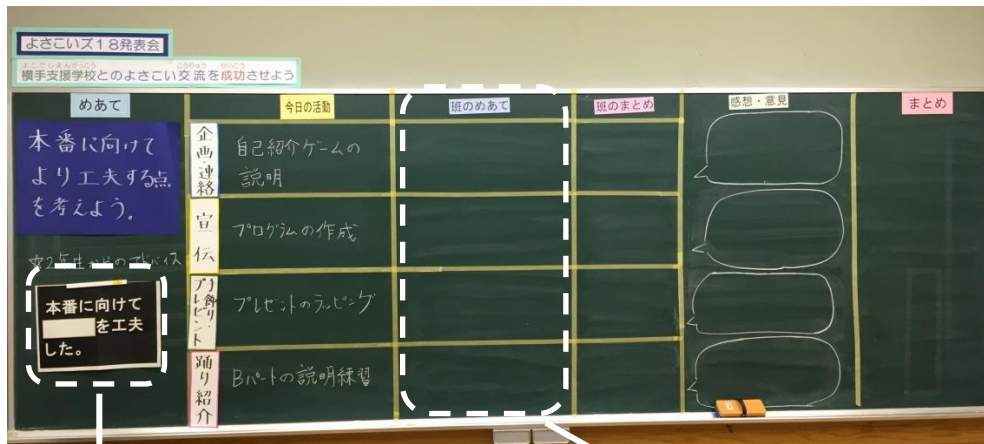


(3) 展開

	時間	学習活動	指導の上の留意点, 教師の働き掛け			
分かる	10分	1 始めの会をする。(1-2) (1)本時の活動内容とめあての確認 (2)横支メールの紹介(企画・連絡班) ※横手支援学校とのメールのやりとりを紹介する。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が中心になって活動を進められるよう、各班のリーダーが輪番で進行役を行う。(T1) できる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本時のめあて：本番に向けて、より工夫する点を考えよう </div> <ul style="list-style-type: none"> よりよくする点を考えながら活動できるように、「より分かりやすくするために□□工夫した。」と穴抜きにしたまとめのシートを事前に提示する。(T1) 分かる 			
	60分	2 各班で本番に向けた準備をする。 企画・連絡班 (縫製室1) ●自己紹介ゲームの内容の話合い ・2年生からのアドバイスの整理 ・工夫する点の話合い ・手本の練習など 宣伝班 (図書室) ●本番用プログラムの作成 ・見やすい文字の色などの話合い ・題字の色塗りや次第の作成など 手飾り・プレゼント班 (1-1) ●プレゼント用手飾りのラッピング ・クッション材作り ・袋の飾り付け、手飾りの袋詰めなど ●手飾り作り(ラッピングの作業が早く終わった生徒が行う。) 踊り紹介班 (1-2) ●Bパートの踊りの説明練習 ・掛け声ボードのより分かりやすい見せ方について話合い ・踊りの説明練習	企画・連絡班(T1)(縫製室1) めあて：自己紹介ゲームが、横手支援学校の友達により分かりやすく伝わるように、工夫しよう。 ・生徒同士で工夫する点を出せるように、自己紹介ゲームの成果と課題を「盛り上がり」、「分かりやすさ」の項目に分ける場面を設定する。 分かる できる ・「分かりやすさ」についてイメージがもてるように、生徒自身がこれまでの学習時にどのようにして踊りを覚えたか問い掛ける。(劇練習時など) 分かる	宣伝班(T3)(図書室) めあて：プログラムがより見やすくなるように、工夫しよう。 ・チラシなどを作成したときに学んだ、見やすい「文字の大きさ」や「書体」に気付けるように、これまで製作した物を見えるように机に並べる。 分かる ・文字の色について見やすさを比較できるように、前時に生徒が作った次第の文字の色を見比べる時間を設ける。 できる	手飾り・プレゼント班(T4,T5,T6)(1-1) めあて：横手支援学校の友達が笑顔になるようなラッピングをしよう。(イラストで提示) ・二種類のラッピングを提示して、どちらがもらって嬉しいか選ぶ場面を設ける。(T4) 分かる ・みんなで同じ物を作っていることが分かるように、お互いの活動が見えやすいような配置にし、物を受け渡す場面を設ける。(T4,5,6) 分かる ・ラッピング活動が早めに終了したら手飾り作りができるよう、織機などの準備をしておく。(T4,5,6) できる	踊り紹介班(T2)(1-2) めあて：Bパートの踊りの説明がより分かりやすくなるように、掛け声ボードの見せ方を工夫しよう。 ・工夫することを考えられるよう、Aパートの練習で取り上げた「掛け声ボードの見せ方」、「速さ」などの項目を挙げ、すぐに練習を撮影し、動画を見合う場面を設定する。 分かる ・4人の動きが分かりやすさにつながっているか確認できるように、人数を変えて練習する場面を設定し、生徒から出た言葉などを紹介し、付せん紙に記入する。 できる
できる			<ul style="list-style-type: none"> 班ごとに考えた工夫する点がどうであったか整理できるように、班内で中間評価をする時間を適宜で知らせる。振り返る 			
			<ul style="list-style-type: none"> 工夫する点を絞りやすくするために、話合いを付せん紙法で行う。できる 	<ul style="list-style-type: none"> 5人が協力して活動を進めることができるように、友達への声の掛け方の具体例を示したカードを準備したり、ペアで作業する場面を設定したりする。分かる 	<ul style="list-style-type: none"> 手飾りが仕上がった場合は、友達が喜んでくれる様子を班全体で感じられるように、教室内で友達に手飾りを手渡して感想をもらう場面を設定する。(T6) 振り返る 	<ul style="list-style-type: none"> 「分かりやすく」なっていることが実感できるように、繰り返し練習を撮影して確認したり、宣伝班の生徒に練習を見てもらったりする時間を設ける。振り返る
振り返る	10分	3 班ごとにまとめをする。 (1)今日の活動の進捗状況を確認する。 (2)工夫した点をまとめる。 (3)次時の活動を決める。	<ul style="list-style-type: none"> リーダーが友達の意見を聞き、振り返りをまとめられるように、司会の進行表やメモを取るためのホワイトボードを準備する。振り返る 			
			まとめ：自己紹介ゲームが、より分かりやすく伝わるように、手本を見せることにした。	まとめ：見やすくするために、文字の色を○色にしたり、縁取りを付けた。	まとめ：友達が笑顔になるよう、シールやクッション材できれいにラッピングした。	まとめ：より分かりやすい説明になるように、掛け声ボードを早めに動かして見せるようにした。
	20分	4 まとめの会をする。(1-2) (1)各班からのまとめの発表 (2)本番に向けた進捗状況を確認する。 (3)次時の活動を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 各班の工夫した点が友達に分かりやすく伝わるように、製作物の中で工夫した部分を差し棒などで強調するように伝える。(T1) 分かる 横手支援学校との交流に向けて、どこまで準備が進んだか分かりやすくするために、全体の進捗状況を棒グラフのような形で示す。(T1) 分かる <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> まとめ： <ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすくするために「手本を示す」や「見えやすい文字の色」などの工夫ができた。 ・アドバイスをもらって本番に向けてたくさん工夫できた。横手支援学校の友達に喜んでもらえるように、○○や△△(次時の活動内容)でも、リハーサルよりよりよくしていこう。 </div>			

資料：板書計画

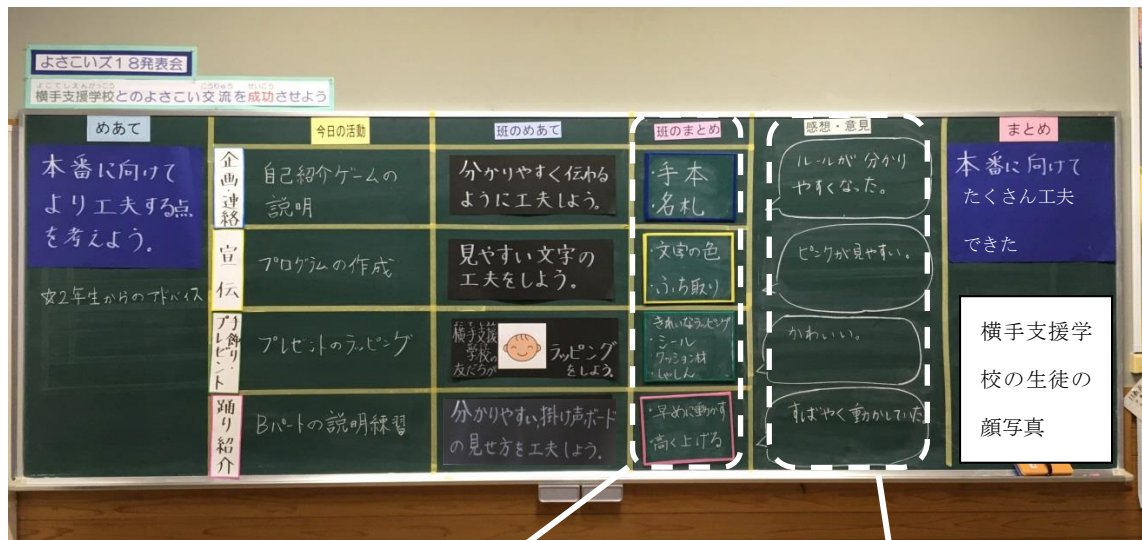
(学習活動1) ・めあてと今日の活動を提示する。



班のまとめに出るキーワードを意識して活動できるように，導入時に提示する。

学習活動1が終了後に，各班に分かれてから班のめあてを確認する。

(学習活動4) ・各班の活動内容や振り返りの発表を行う。

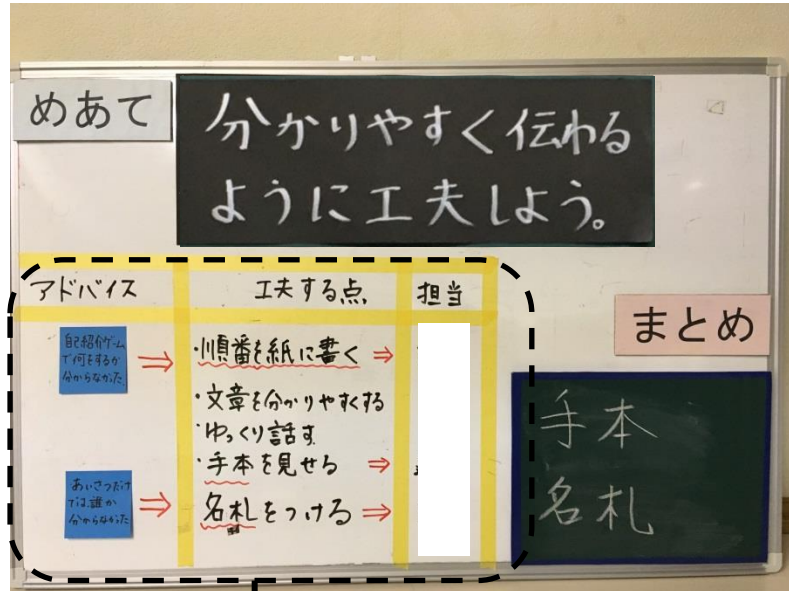


班での振り返りが，他班の生徒に見やすくなるように，キーワードで提示し，具体的な内容については製作物を掲示しながら，説明する。

自分たちでよりよい交流にしようとする意識をもつために，意見を出し合う場を設定した。

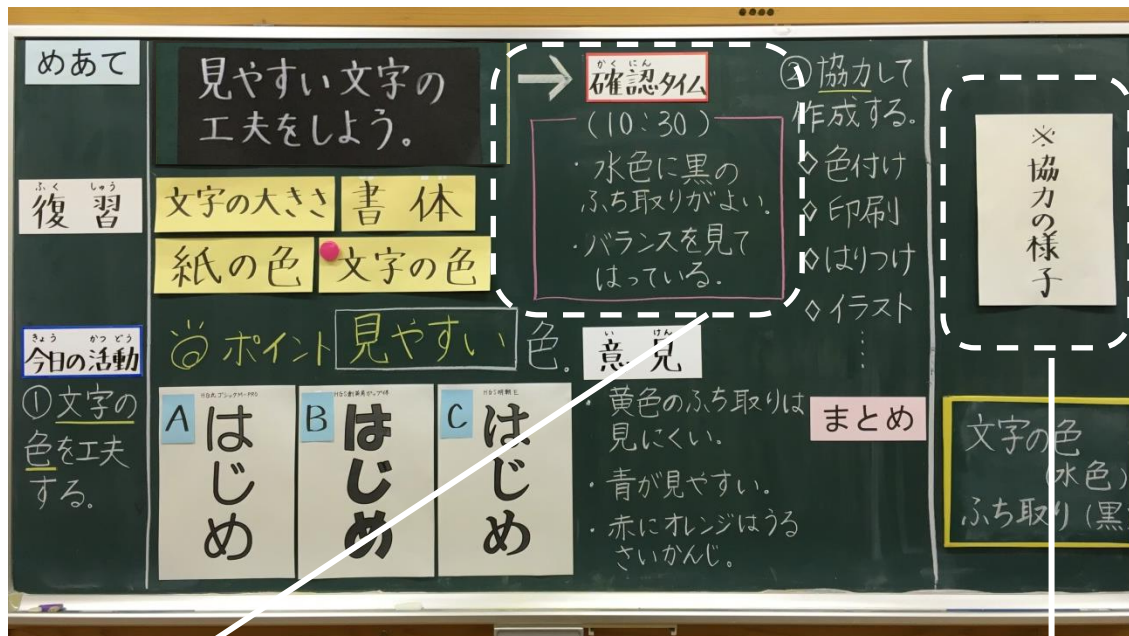
- (学習活動 2, 3)
- ・各班に分かれて、めあてや活動内容を確認する。
 - ・班で工夫した点や気づいた点をまとめ、板書ボードにキーワードにして記入する。

【企画・連絡班】



付せん紙にアドバイスや意見を書くことで、生徒同士で話し合いが進められるようにする。

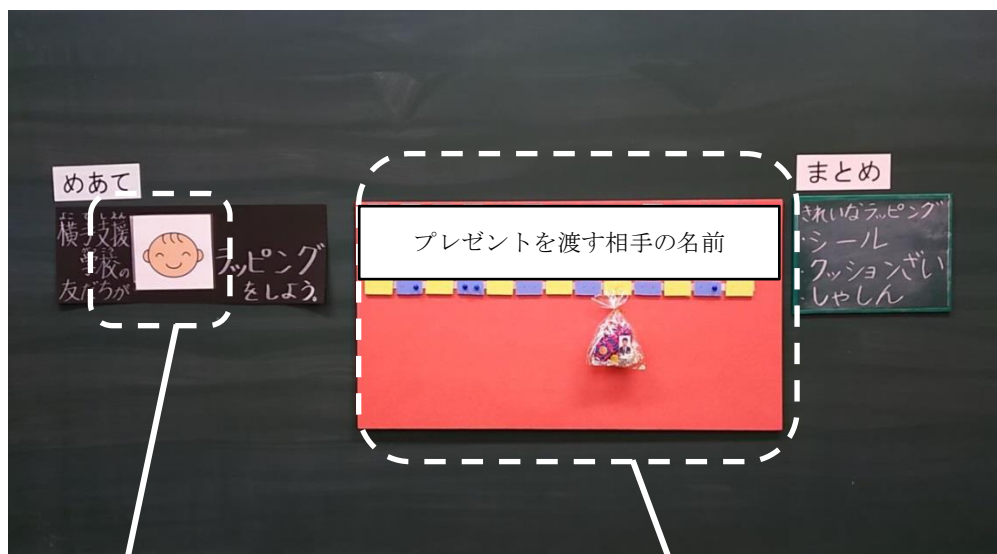
【宣伝班】



活動の途中にめあてに対してどのように取り組んでいるか、振り返る場面を設定する。

活動中に生徒同士が協力していた場面を記入する。

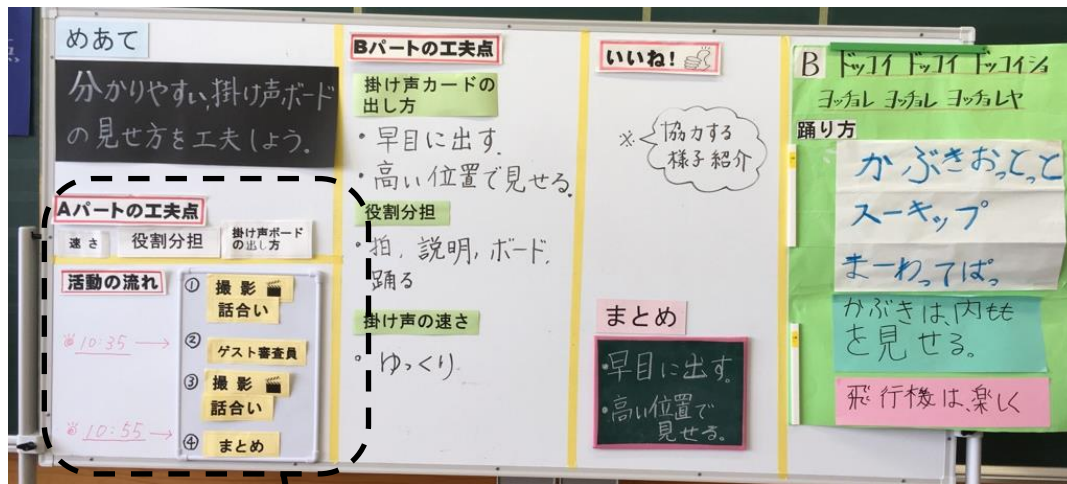
【手飾り・プレゼント班】



目標が生徒たちに分かりやすいように、絵カードで提示する。

視覚的に出来高が分かるように、ラッピングした手飾りを名前ボードに貼っていく。

【踊り紹介班】



生徒同士で繰り返し動画を見合い、意見を出し合って活動できるように、活動の流れを板書する。

Aパートの説明で工夫したことを生かせるように、工夫点を板書する。